

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成 30 年 10 月 26 日
 都市名・国 習志野市・日本

取組の名称	被爆体験講話
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	核兵器廃絶
対象者 (年齢・学年、人数等)	市内小中学校
実施場所	学校内
実施期間	平成 20 年度～ (年間 5 回程度) ※学校の希望に応じて行っている
<p>取組の概要 (授業、イベントはプログラムの次策を、その他 (例: コンテスト等) はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <p>・習志野市にある被爆者の会にご協力をいただき、自身の被爆体験をお話ししていただくことにより、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを次世代に伝える。</p>	
<p>参加者の反応</p> <p>「戦争は人の体だけでなく、心も傷つけるものだと思った。」「こんな昔に、こんなに威力のある物が開発されていると思うと、今世界にある原爆が恐ろしく思えてきた。」など、多くの感想をいただいている。</p>	
<p>成果</p> <p>講話後に核兵器の恐ろしさと平和の大切さが今までよりもわかったかアンケートをとっている。「よくわかった」、「まあまあよくわかった」という回答が毎年 9 割を超えており、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを次世代に伝える目的が達成できている。</p>	
<p>課題</p> <p>戦後 70 年が経ち、戦争体験者が年々高齢化しており、講話をどのように継承していくかが課題となっている。</p>	
<p>取組で使用した素材について (図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>講話者によって異なるが、基本的にはパワーポイントと本人の説明による。</p>	
<p>上記素材の共有の可否 (取組で使用した素材を、平和首長会議の WEB サイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能 (素材を添付してください) <input checked="" type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。



講話の様子